

NPO 法人 北海道勤労者安全衛生センター HP: <http://www.hokkaido-osh.org/index.html>**再掲載 「全国産業安全衛生大会・札幌」 9 月 16 日(水)～18 日(金)**

札幌での開催についてお伝えしてきました。当センターとしては、札幌開催ということもあり、積極的に参加していただけるよう検討をお願いします。参加に関わる文書は会員組織に個々に送付しています。

今年度は、昨年度の会費を納入いただいている産別・地協に参加費の一部を補助(全体で 20 人)することとしました。大会の概要は以下のようになります。



■主催 中央労働災害防止協会

■後援 連合、連合北海道ほか

■概要 9 月 16 日(水) 13 時 15 分～17 時

総合集会【開会式・講演会】北海きたえーる

※特別講演 (株)セコマ 取締役会長 丸谷 智保さん「人口減少、高齢化と向き合う経営」など

9 月 17 日(木) 9 時 30 分～17 時 分科会 【8 分科会】札幌コンベンションセンターなど

9 月 18 日(金) 9 時 30 分～16 時 分科会 【8 分科会】上記ほか「つどーむ」「カナモトホール」

■同時開催 9/16～18 緑十字展 【安全・健康にかかわる器具・情報等の展示会】つどーむ 【無料】

開催詳細は、URLまたはQRコードからご覧ください。

札幌大会URL→ <https://jisha-taikai2026.com/> QRコード→**NEW「全道セイフティネットワーク集会」で「うつ病・うつ状態」の人への対応を学習しました ⑤**

第 29 回全道セイフティネットワーク集会での北海道家庭生活総合カウンセリングセンターの吉野先生からの講演を連続してお伝えしています。先週はうつ病の治療について「薬物療法」「環境療法(休息や入院)」「精神療法(認知療養など)」があることをお伝えし、薬を服用する際には、「何よりも休息が大切」「自己判断は禁物」ことも説明しました。プレゼンティーズムについて、内面で限界を迎えている職員が少なくないと言われていることも補足しました。



今回は、「妊産婦のうつ」について説明します。周産期はうつ病が発症しやすく、産後 10%近くで「産後うつ」を生じる可能性があり、出産後の疲弊期に果たさなければならない母親の役割は多く精神的負担は大きくなるとの説明があり、周囲の協力が精神状態に大きく影響するとの指摘がありました。こうした話の流れから、うつ病の人との接し方の講演となり、周囲の人たちに「あせりが出る」が気持ちに余裕をもって接することが第一で、

欠かせない家族・職場・地域の理解

- ・ うつ病は病気なので、その人を責めない
- ・ 休息できるように環境を整える
- ・ 原因追求は百害あって一利なし
- ・ 「がんばれ」などの励ましは逆効果
- ・ 本人も周りも、どちらも焦らない
- ・ 支援者は一人で抱え込まずに複数で対応
- ・ 勉強は冷静になることができるので有用
- ・ 支援者自身の体調にも気をつける

「答えより理解と共感」「大きな決め事は先延ばしし、棚上げ」「よくなるという希望と回復を焦らない気持ち」「生活のリズムの違いを許す」などの接し方が必要であり、治療への導入は丁寧に行うことが必須としました。そして「欠かせない家族・職場・地域の理解」として左の事項が挙げられました。【つづく】

NEW 厚生労働省 R7 年の労働災害発生状況【確定値】 「労災補償状況」などを発表！

厚生労働省が公表した「令和 7 年度の労働災害発生状況(確定)」によると、労働災害による死亡者数は 700 人(前年比 46 人、6.2%減)と過去最少となりました。休業 4 日以上死傷者数については 135,333 人(前年比 385 人、0.3%減)となっています。

死亡者数について、業種別に見ると「建設業⇒製造業⇒陸上貨物運送業⇒商業」の順となっており、型別では「墜落・転落⇒交通事故⇒はさまれ・巻き込まれ」となっています。休業 4 日以上死傷者を業種別に見ると、「製造業⇒商業⇒保健衛生業⇒陸上貨物運送業」の順に多く、「転倒⇒動作の反動・無理な動作⇒墜落・転落」の内容となっています。

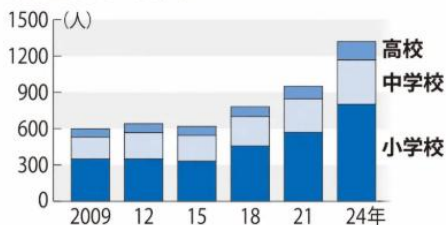
労災補償状況については、精神障害の請求と認定件数が過去最多になっています。精神障害の請求件数は前年比 1178 件増の 4958 件、認定件数は 26 件増の 1082 件となり、順に 5 年・7 年連続で最多を更新しています。認定事案における心理的負荷となった「出来事」はハラスメントが顕著で最多は「パワハラ 222 件」で、次いで「カスハラ・セクハラ各 127 件」で大幅増となっています。増加要因について厚生労働省は、認定基準の改正により、心理的負荷となる「具体的な出来事」の項目にパワハラ、カスハラが順次追加されたことなどを挙げています。また、認定率を 28.2%とし、業種別の認定件数は「福祉・介護事業 151 件⇒医療 139 件⇒道路貨物運送 68 件」となっています。カスハラ対策は 10 月から事業主の義務となります。企業・団体の対策は被害者・精神障害が発生してからでは手遅れとなります。事前の予防対策を万全に！

NEW 文部科学省 2024(R6)年の精神疾患による退職教員数を公表

文部科学省は、2024 年度に精神疾患を理由に退職した公立小中高校の教員が過去最多の 1319 人に上ったとする調査結果を明らかにしました。3 年前の前回調査の約 1.4 倍に当たり、初めて 1000 人を超えました。文科省は教員の働き方改革を進めていますが、効果が見えない現状が改めて浮き彫りになっています。

常勤教員の人数や年齢、退職などの状況を 3 年に 1 度聞き取る「学校教員統計」で、25 年度調査(24 年度実績)の中間報告が公表されたものです。精神疾患による退職者は増加傾向にあり、初めて調査項目に加わった

精神疾患による退職教員数
(公立小中・高校)



2010 年度調査は 599 人だったものが、前回の 22 年度調査は 950 人、今回調査で 1000 人の大台を超え、15 年で 2 倍超に膨らんでしまいました。

背景について文科省の担当者は「一概には言えない」としつつ、多様な児童生徒への対応や職場での人間関係、事務的な業務負担の増加などが関連している可能性を示唆しています。また「メンタルヘルスの取り組みは喫緊の課題と捉えており、引き続き対策を進める」ともしています。【毎日新聞より】

再掲載【サンプル動画】『10 月義務化！企業等に求められるカスハラ対策とは』 労働新聞社セミナー

講師：弁護士 中町誠法律事務所 中井 智子 さん 以下が無料公開部分(10 分程度)の内容です。

- 1 カスタマーハラスメントの現状
- 2 カスタマーハラスメントの法改正
- 3 カスタマーハラスメントの実務対応～マニュアル制定の留意点
- 4 カスタマーハラスメントに関する裁判例
- 5 カスタマーハラスメント対応に向けて

ぜひご覧ください(ログインしていただくと、全編視聴が可能です)。



https://www.rodco.jp/movie/219367/?utm_source=nl&utm_medium=email&utm_campaign=0679n

NEW「上司がしてはいけないタブー」⑪「新米上司をいじめる」の上司いませんか？

先週号では、給湯室や喫煙室で上司が部下とともにうわさ話に花を咲かせる管理職が問題になってしまう話で、お互いを尊重し合う姿勢を上司自らが示めさなければならぬことをお伝えしました。

今回は、「新米上司をいじめる上司」についてです。人事異動が発表となり、新たに着任する所長について古参の管理職が「まだ若造だし、なめられるなよ！ここにはこのやり方があるから、新しい指示は無視だぞ」と発破をかけます。これまでもこの職場では異動してきた人に体調を崩す人が続いています。皆さんの周りには、その職場に長くいる、その仕事に精通しているなどの様々な優位性を利用して、それを背景に「仕事の進め方に難癖



をつける」「過去からのやり方を押し通して、指示を無視する」「食事・飲み会などでの仲間外れ」などのハラスメントする人はいませんか？部下から上司に対する嫌がらせ「パワハラ」になります。また、人事異動は悪しき慣行を見直し、環境を見直すチャンスとなります。ですから、新たに着任した人と積極的に交流することが、環境の変化などに気づく良い機会となります。みなさんの職場では「どうして、こんなやり方をしているんだろう！」ということを発見するとりくみはしていますか？【おわり】

NEW「何度言っても直らない人」いませんか？ 職場づくりのコミュニケーションスキル ①

安全・安心の職場めざしたコミュニケーションのあり方についてお伝えします。かなりネガティブなタイトルですが、「何度言っても変わらない」「同じことを何度も注意している」「説明したはずなのに動かない」という経験は少なからずあるかと思います。この原因を本人のやる気不足に決めつけてしまうのはどうか？ということ掘り下げて考えて安全衛生の向上に繋げていきたいと思います。

動かない、改善されない原因として考えられるのが、①指示・指導の内容が理解されていない、②なぜ、そのようにしなければならないのが分かっていない、③そうすることでどうなるかがイメージできていない、の3点が挙げられます。



「目的とゴールが共有されておらず、行動後の姿が具体的にイメージできていない」こととなります。また、行動しない理由は理解不足だけではなく、改善しようとする事への阻害要因があり、「改善よりも優先すべきことがある」「他にも改善されていない事や場所がある」といった「安全第一より生産第一」「改善されない放置状態を黙認する空気」が挙げられます。次号では、「指示」「指導」の実際について説明していきます。【つづく】

お知らせ 東京都産業局のハラスメント防止動画があります 企業・団体で活用の検討を！

こちらから https://www.nohara.metro.tokyo.lg.jp/?y_j_r=6e&_ly_c=186cbe67-4ef8-489f-9873e4ab82463660&_ly_r=110&_ly_src=da

お知らせ 北海道勤労者安全衛生センターの労災防止研修用 DVD(無料)ライブラリー

北海道安全衛生センター所有 DVD 一覧(PDF)

100本を超えるDVDがあります。

申込は safety@rengo-hokkaido.gr.jp

会員組織でなくても無料でお貸します

企業・団体での研修会講師の依頼・相談も無料ですので当センターに気楽に相談を！

■ 中 | 災 | 防 | 技 | 術 | 支 | 援 | 部 | 情 | 報 |

令和6年度の研修・セミナーの開催日程もホームページに掲載しています。詳しくは、各研修等のページをどうぞご確認ください。<https://www.jisha.or.jp/seminar/oshms/index.html>

<安全衛生団体>

■ 中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

■ 厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40277.html に掲載。

■ 北海道安全衛生サービスセンター <http://www.jisha.or.jp/hokkaido/>

■ 安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

■ 労働科学研究所 <http://www.isl.or.jp/>

■ 労働者健康安全機構 <https://www.johas.go.jp/>

■ 労働安全衛生総合研究所 <https://www.jniosh.johas.go.jp/>

■ 北海道産業保健総合支援センター（産保センター） <http://www.hokkaidos.johas.go.jp/>

■ 職場のあんぜんサイト (mhlw.go.jp)

■ 労働調査会 <https://www.chosakai.co.jp/>

■ 日本産業カウンセラー協会北海道支部

[一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 \(counselor.or.jp\)](http://counselor.or.jp)

【必見】「働く人の悩み相談室」開設中！しております。詳しくは[こちら](#)から お申込み・お問い合わせは下記までご連絡下さい。▼ご予約は電話：011-209-7000（平日 9 時～17 時 ※土日祝日はお休み）メール：sapporo@counselor.or.jp（当日をご希望の方はお電話での受付になります。）

○ 個人の方へ | カウンセリングのご相談 | 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部
(counselor.or.jp)

○ 日本産業カウンセラー協会 <http://www.counselor.or.jp/>

<行政>

■ 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

■ 厚生労働省 北海道労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>

■ 北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

■ こころの耳（メンタル専用サイト） <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「事例紹介」に検索機能を追加しました。

[こころの耳 Q&A | こころの耳:働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト \(mhlw.go.jp\)](#)

■ パワハラポータルサイト「明るい職場応援団」 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

■ アスベスト情報 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>

■ 独法 労働政策研究・研修機構（JIL） <https://www.jil.go.jp/>

■ いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター（IMC） <http://ijimemental.web.fc2.com/index.html>

<おすすめHP>

- ガン情報 がん対策情報センターについて
- がんと仕事のQ & A
- 過労死防止学会 <http://www.jskr.net/>
- 全国過労死を考える家族の会 <http://karoshi-kazoku.net/>
- 日本アドラー心理学会 <http://adler.cside.ne.jp/index.html>

NEW ■ 安全スタッフ <https://www.rodco.jp/kytsheet/>

安全スタッフ電子版の人気コンテンツ『KYTシート』安全教育動画の紹介 危険予知訓練に活用を
〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル 5F
事務局長理事 木下真一 TEL 011-272-8855 safety@rengo-hokkaido.gr.jp

北海道ろうきん 75周年記念
特別金利 定期預金 つなぐ
10年もの 年1.314%
7年もの 年1.55%
5年もの 年1.45%
10年もの 年1.65%
お問い合わせはお気軽に
(ろうきん)店舗へ
ろうきんコンタクトセンター
TEL 0120-3-199-36
北海道ろうきん

無料 登録不要
お住まいの地盤診断サービス
地震の揺れ・液状化・浸水の可能性など、すぐわかる
こくみん共済 北海道推進本部
たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済 北海道推進本部
北海道労働政策研究センター